～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

２０１０年　９月号（No. ２１）

平井会計事務所　税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4－22－1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03－3452－7082　Fax :03－6303－3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

安易な増員は要注意!作業サイクルを検証して適正人員を把握しよう

ある工場では井戸水をタンクに貯めて利用しています。水は作業員１人が手作業で運んでいて、水を汲む作業に10分、井戸とタンクの往復に20分かかります。ノルマは１日で80ℓ、1回で運べる量は5ℓなので、作業時間は８時間、途中に休憩が１時間あるので合計で９時間かかります。朝９：00に作業を開始して終わるのは夕方の18：00です。屋外なので夕方は電気をつけています。

1人で作業した場合	
1人当りの作業時間	8時間
合計作業時間	8時間
作業終了時刻	18:00

◆人数を２人にする

電気代を削減したいと思っていた副工場長は「水を運ぶ作業を昼までに終わらせたい」と考えていました。副工場長は人数を増やせば作業も早い時間で終わると思い人数を１人から２人に増やしました。すると、作業の時間は半分に減り14：00に終わりました。しかも作業員は時間給なので、人数は増えても人件費は変わりません。

2人で作業した場合	
1人当りの作業時間	4時間
合計作業時間	8時間
作業終了時刻	14:00

◆人数を４人にする

作業員を２人に増やしてから数日たったある日、作業員から副工場長に「12:00 で作業が終わるようにしたい」と申し出がありました。どれだけ人数が増えても人件費が増えない、と安易に考えた副工場長は２人から４人に作業員を増やしました。ただし、自分の作業が開始する直前に出社し、自分の作業が終わったらスグ帰るよう指示を出しました。作業員を４人に増やすと、作業は 12：00に終わるようになりました。副工場長は作業員の人も満足できて良かったと思いました。

4人で作業した場合	
1人当りの作業時間	2時間30分
合計作業時間	10時間
作業終了時刻	12:00

ところが、後日人件費を調べると以前に比べて1.25倍に増えたことに気がつきました。「人数が増えて怠けたな!」副工場長は４人を注意しようと思いましたが、横にいた工場長が声をかけます。「少し詳しく調べた方がいいね」。

◆待ち時間が増えた

「1サイクルの作業のうち、1/3は１人しかできない作業（水汲み）だから、作業員が４人もいると待ち時間が発生してしまうね」。工場長は表を書いて説明してくれました。

	9:00						10:00						11:00					
①	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	－	－	－
②	－	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	－	－
③	－	－	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	－
④	－	－	－	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復	×	水	往	復

作業員がわざと怠けていたワケではないことが分かって副工場長は反省しました。ムダな待ち時間をなくすため工場長にも意見を聞いて、水を汲む作業の専任が１人、水を運ぶ作業の専任が2人の計3人体制に見直しました。

◆人数を３人にする

	9:00						10:00						11:00					
①	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	－	－
②	－	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	－
③	－	－	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復

作業員を分業制の３名にしても、とくにトラブルもなく12：00 に作業は終わっています。人件費も以前と変わりありません。ようやくみんなが満足する結果が出ました。副工場長は「経費削減」「作業効率化」の作業体制を組むためには適正人員を把握することが大切だ、と改めて感じました。

3人で作業した場合	
1人当りの作業時間	2時間40分
合計作業時間	8時間
作業終了時刻	12:00

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。（平日毎日更新）⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/